

令和３年度国民体育大会第４１回九州ブロック大会における 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

※本ガイドラインは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障害者スポーツ協会）、各中央競技団体等が定めるガイドライン、各業界団体が定めるガイドライン等を参考に、令和３年度国民体育大会第４１回九州ブロック大会「以下、「福岡大会」という」の競技会開催に向け、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑え、安全・安心な競技会運営とすることを目的に作成しました。

※本ガイドラインでは、競技会における各主体の役割分担や競技会の参加者が遵守すべき事項を定めるとともに、各競技団体において、実施することが望ましい標準的な対策をとりまとめており、対策を検討するにあたっての「判断の基準」として活用していただくことを想定しています。

※なお、本ガイドラインは、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況に応じて、随時、必要な改訂を行っていきます。

令和３年度国民体育大会第４１回九州ブロック大会福岡県実行委員会
【第３版】 令和３年６月３０日

1 目的

本ガイドラインは、福岡大会の競技会開催にあたって新型コロナウイルスの感染防止のため、競技会における、各主体の役割分担や参加者が遵守すべき事項を定めるとともに、競技団体において実施することが望ましい標準的な対策をとりまとめたものである。

なお、競技固有の特性により必要となる対策は、各中央競技団体等が定めるガイドラインに従い実施するものとする。

2 対象

本ガイドラインは、福岡大会に参加・参画するすべての者（以下、「参加者」という。）を対象とする。

（１）各競技団体または、福岡県実行委員会が発行するＩＤカード※を所持する以下の者

- ・選手団（選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む））
- ・競技会運営者（競技会役員、競技役員、競技補助員等）
- ・報道員（それに準じるものを含む（以下、同じ））
- ・競技会場内で業務に従事する者（施設管理者、物販店、競技会場運営業務受託者など）
- ・大会役員（九州各県本部役員を含む）
- ・視察員

※ＩＤカード発行の担当割について

- 各競技団体は、各競技会限定の「選手団」「競技会運営者」「報道員」並びに「その他、式典・競技会場内で業務に従事する者」のＩＤカードを発行するものとする。
- 福岡県実行委員会は、各競技会共通の「大会役員」並びに「視察員」のＩＤカードを発行するものとする。

3 大会開催の可否判断

（１）新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合

①緊急事態宣言が全国に発令された場合

「新型コロナウイルス等対策特別措置法」（以下「特措法」という。）に基づく緊急事態宣言が発令された場合、県をまたぐ移動が制限されることから、主催者と協議の上、開催を中止する。

②本県（鹿児島県開催競技については、鹿児島県）が特定警戒都道府県に指定された場合

九州から多数の参加者が来県し、県をまたぐ移動を伴うため、本県（鹿児島県開催競技については、鹿児島県）において感染のリスクが高い状況下での大会開催は、参加者のみならず地域住民への感染拡大の可能性が高いことから、主催者との協議の上、大会の中止などを視野に入れ、開催判断を行う。

③本県以外の都道府県に対し緊急事態宣言が発令された場合

各地域の感染状況や感染拡大リスク等を判断した上で、主催者と協議の上、開催判断を行う。

（２）本県独自の「福岡コロナ警報」（鹿児島県については、「鹿児島県における感染拡大の警戒基準」のステージ３の段階）が警戒発令された場合

①「福岡コロナ警報」について

万が一感染が拡大した場合、各医療機関において、どのようなタイミングで病床の準備に入るか、医療関係者間で共有できる客観的な指標として、県独自に設定したものである。

この４つの指標を基に、総合的に判断した結果、医療、医療提供体制がひっ迫する恐れがあると認められた場合には、医療機関に対し、病床の準備等の医療提供体制の整備を要請する。併せて、感染の拡大防止を図るため、県民、事業者に対する外出自粛や休業の要請等の措置について検討する。

②「福岡コロナ警報」が発令された場合について

県内において感染拡大の恐れがあり、県民、事業者に対する外出自粛や都道府県をまたぐ不要不急の移動の自粛を要請している場合は、主催者と協議の上、大会の中止などを視野に入れ、開催判断を行う。

指 標		基 準
1	感 染 者 数 3日間の平均感染者数	1日当たりの感染者が 3日連続 40人 [※] 以上で かつ増加傾向
2	感染経路不明者の割合 感染者に占める感染経路不明者の割合	1週間当たり 50%以上
3	病 床 稼 働 率 全確保病床に占める 新型コロナ患者の入院病床数	25%以上
4	重症病床稼働率 重症患者用確保病床に占める 新型コロナ重症患者の入院病床数	25%以上

福 岡 県

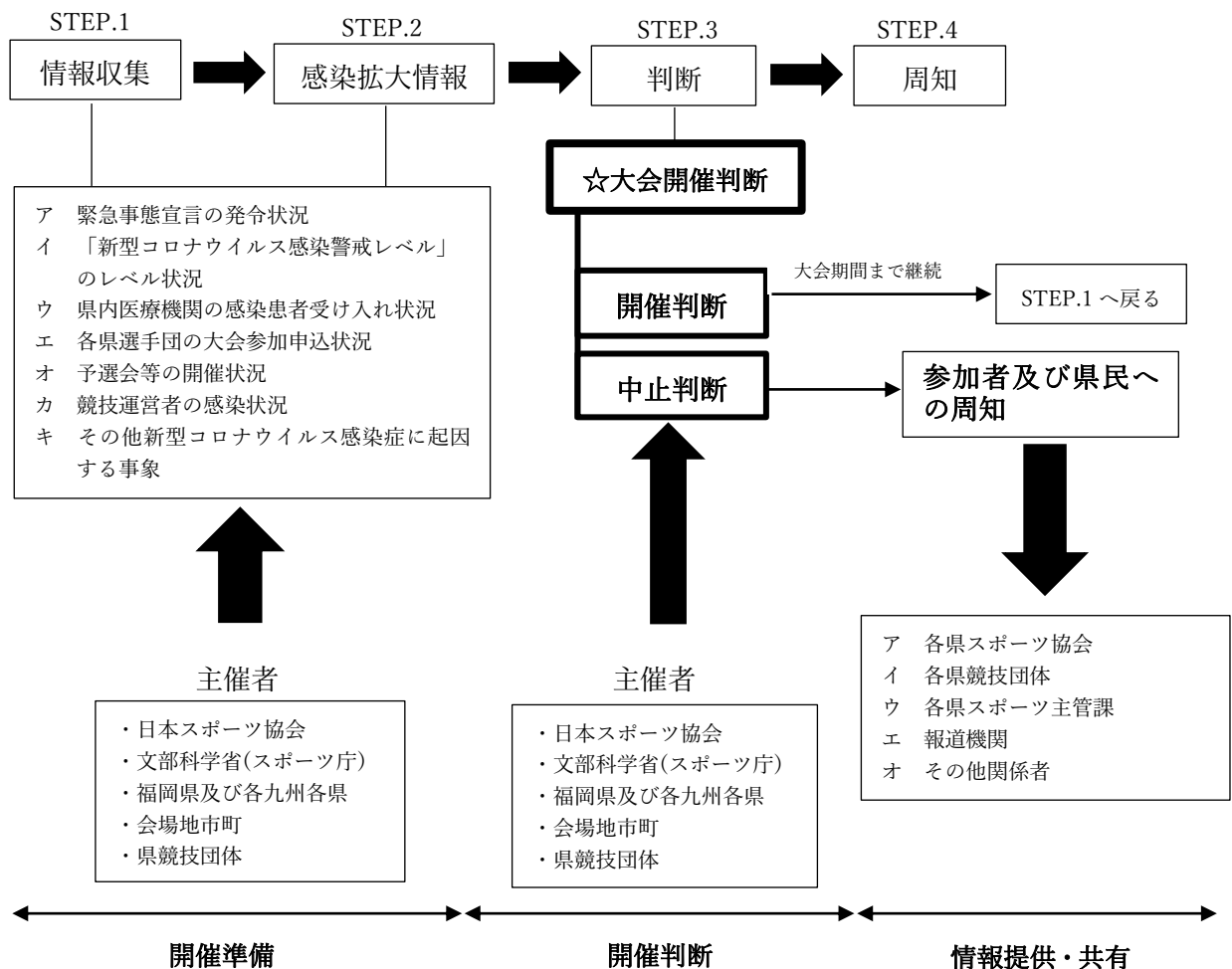
(3) その他の判断基準

大会開催前および大会期間中において、次の①～⑤の状況が発生した場合、県や市町をはじめとする主催者は大会開催の可否について協議する。

- ①福岡県内（鹿児島県開催競技については、鹿児島県内）において医療機関の新型コロナウイルス感染患者受け入れが対応不可となる恐れがある場合
- ②各県選手団の参集が困難な場合（申込済み参加県数1／4以上）
- ③予選会開催（もしくは選手選考）が困難な場合（予選会の2／3程度が実施に影響を生じた場合）
- ④競技会に参加している者及び競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症陽性感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、又はその可能性が想定される場合
- ⑤その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合

(4) 大会開催の可否判断の流れ

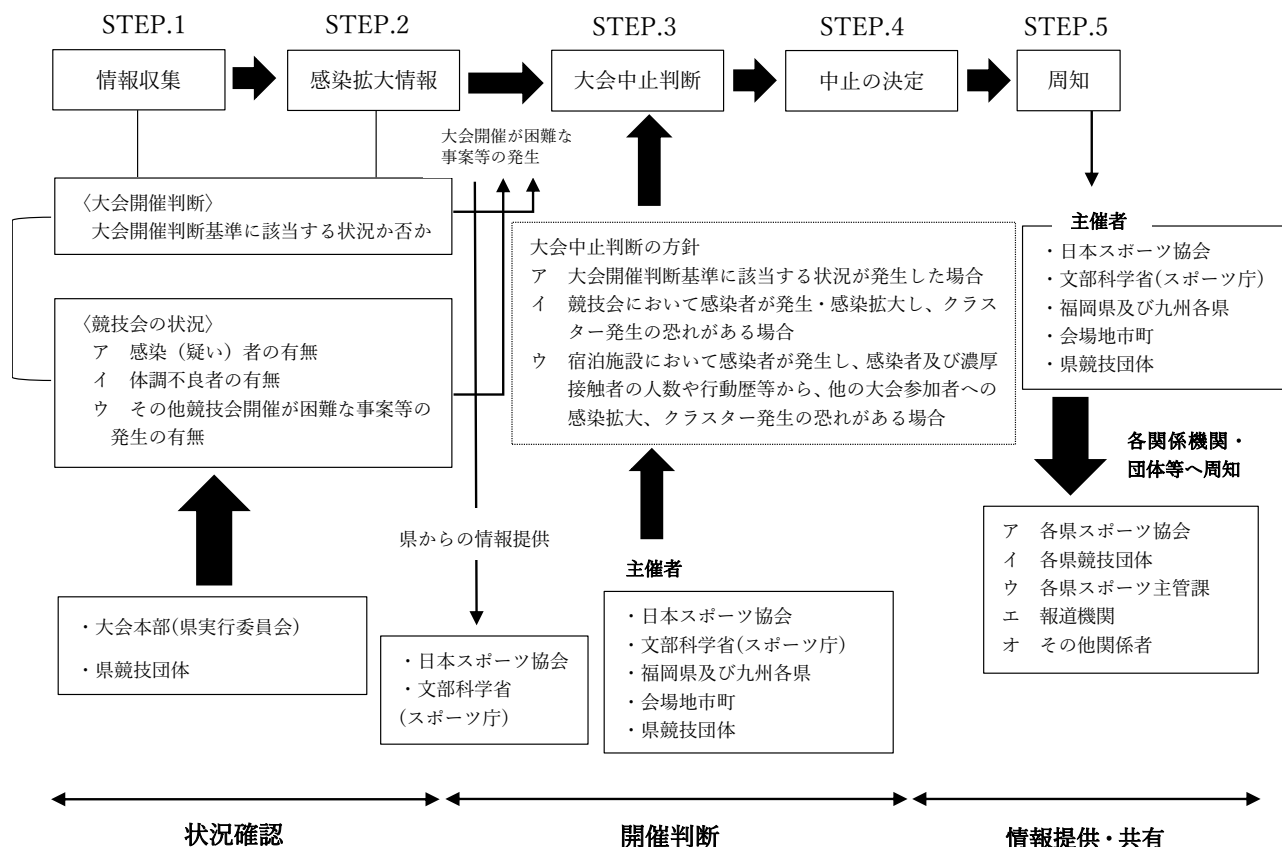
① 大会開催前



☆大会開催3週間前までに判断

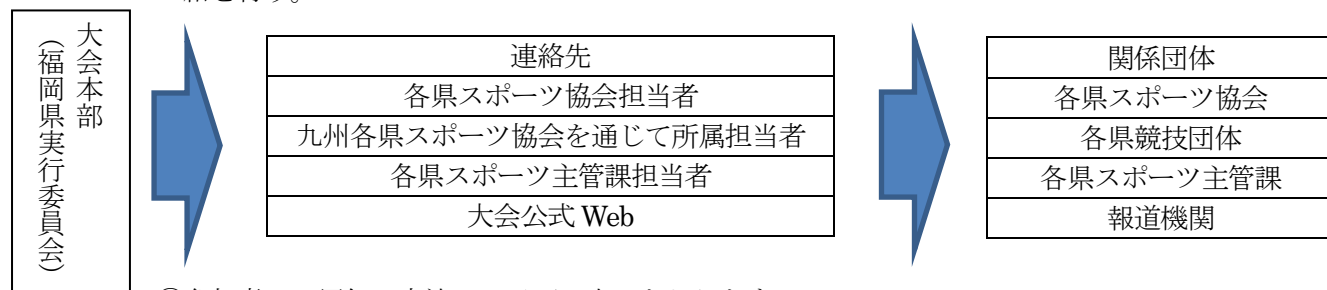
その後は、競技会毎に、(1)～(3)の状況に応じて、随時検討を行う。

② 大会期間中

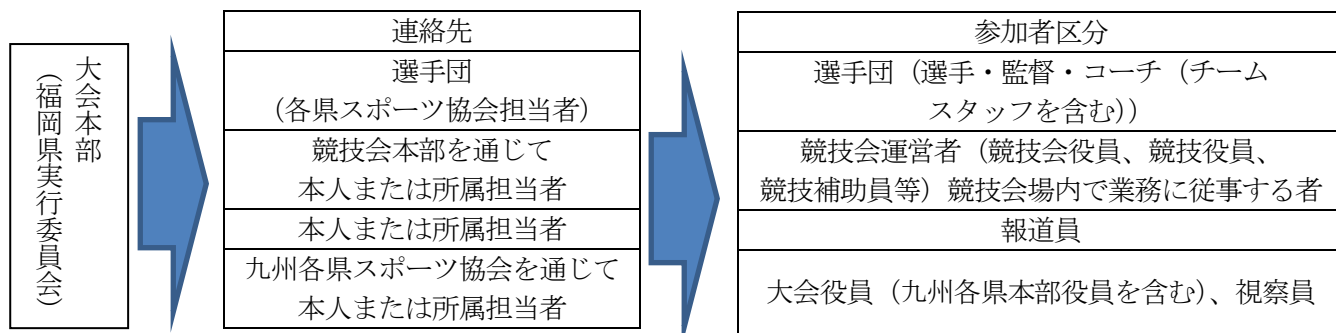


(5) 中止周知方法

①中止連絡は、大会公式 Web 上に旨等を記載する他、大会本部から、以下のとおりメール等にて連絡を行う。



②参加者への周知の方法は、以下の表のとおりとする。



4 競技会、競技会場、総合開会式に関する対策・対応

公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」(以下、「国体基本方針」とする)の目的にある『国体の核となる競技会を守り抜くこと』、『国体開催が新型コロナウイルス感染症感染拡大を誘発させないこと』に基づき、本大会が第76回国民体育大会「三重とわか国体」の予選会であることを踏まえて、大会での感染リスクを抑え、選手・監督をはじめとした参加者及び大会関係者の安全・安心を確保するために、次のとおりとする。

(1) 総合開会式の中止

① 8月下旬に予定していた総合開会式は、以下の理由から中止とする。

- ア 選手団の移動および待機時に「3密」を避けるための十分なスペースを会場内に確保するのが困難
- イ 競技開始前の感染リスクの回避

(2) 無観客での競技会実施

① 競技会場へ一般観覧者の入場は、以下の理由から認めないこととし、無観客で競技を実施とする。

- ア 選手団と観客の動線分離や身体的距離の確保などの「3密」を避ける対策、行動を規制する対策が困難
- イ 新型コロナウイルス感染者の発生に備えた来場者の連絡先や行動歴の把握等、個人情報の収集、管理が困難

② 競技会場へ「大会役員」、「視察員」並びに「報道員」の入場は、以下の理由から最小限に止めるものとする。

- ア 選手団との動線分離や身体的距離の確保などの「3密」を避ける対策、行動を規制する対策に負担（人的配置や費用）増

5 体調不良者発生時の対応

(1) 定義

体調不良者は、発熱（37.5℃以上）、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚異常などの各項目の症状が確認できる者とする。

(2) 大会の参加可否判断 ※別紙1「大会の参加可否判断について」参照

① 以下の事項が確認された場合、参加を見合わせる。

- ア 体調不良の場合
 - イ 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触※がある場合
 - ウ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - エ 会場地入り前 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触※がある場合
- ※濃厚接触とは、「該当者と 1 m 程度以内で、必要な感染予防策なしで、15 分以上接触があった場合」と定義する。

② 参加者の中で新型コロナウイルス感染症に罹患または、疑わしき症状（体調不良）が発症した際の大会参加可否の判断について、「国体基本方針」に基づき、下記のア及びイを定める。

その他、定めのないケースが発生した場合については、各競技団体と県実行委員会が協議の上決定する。

ア 大会開催期間中の罹患または、疑わしき症状のある者が発生した場合の対応

（ア）罹患または、疑わしき症状のある選手団及びその選手団が所属するチームについては参加することはできない。

（イ）競技会運営者、報道員、競技会場内で業務に従事する者、大会役員及び視察員の罹患または、疑わしき症状のある個人については参加することはできない。

（ウ）上記に該当する軽症者については、各県の責任において原則速やかに帰県すること。

イ 大会開催2週間前から来場までに、感染疑い者（疑わしき症状があり、PCR 検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、または医療機関を受診しなかった者）が発生した場合の対応

（ア）インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあるため、原則当該者は参加を辞退する。または、派遣を取り消す。

ただし、次のA及びBの両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認めても構わない。※対応については、別紙2「対応フロー」参照

A 感染疑い症状の発症後に少なくとも8日が経過している。

（8日が経過している：発症日を0日として8日間のこと）

B 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも3日が経過している。（3日が経過している：解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと）

(3) 大会期間中の対応

ア 医療機関等への電話相談

- (ア) 選手団帯同スポーツドクター等と協議し、県内居住者は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関「診察・検査医療機関」、県外居住者（福岡大会に参加するため県内の宿舎に宿泊する者）は「受診・相談センター」※へ電話相談し、指示を受ける。
- (イ) 診療・検査医療機関または、受診・相談センター（以下、「診療・検査医療機関等」という）へ相談した場合、電話した旨、電話内容（受けた指示等）について競技会本部または大会本部に報告する。（様式4 内容報告）
- (ウ) 各競技会本部は、診療・検査医療機関等へ電話相談した報告を受けた場合は、速やかに大会本部へ報告する。（様式4 内容報告）
- (エ) 大会本部は、診療・検査医療機関等へ電話相談した報告を受けた場合は、速やかに各競技会本部及び日本スポーツ協会へ連絡する。（様式4 内容報告）
- (オ) 報告に当たり、選手団の監督や各団体の代表者等が報告を行う。（様式4 内容報告）
- (カ) 医療機関やかかりつけ医等への移動は、原則、本人又は派遣元が行う。

開催市町	保健所（受診・相談センター）	電話番号	夜間・休日の連絡先
北九州市	北九州市新型コロナウイルス専用ナビダイヤル	0570-093-567 【24 時間対応】	同左
福岡市	福岡市新型コロナウイルス感染症相談ダイヤル	092-711-4126 【24 時間対応】	同左
久留米市	久留米市新型コロナウイルス相談センター	0942-30-9335 【24 時間対応】	同左
飯塚市 嘉麻市	嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	0948-21-4972	092-643-3288
小郡市	北筑後保健福祉環境事務所	0946-22-9886	092-643-3288
筑紫野市 春日市	筑紫保健福祉環境事務所	092-707-0524	092-643-3288
宗像市 遠賀町	宗像・遠賀保健福祉環境事務所	0940-36-6098	092-643-3288
古賀市 粕屋町	粕屋保健福祉事務所	092-939-1746	092-643-3288
湧水町	始良保健所	0995-44-7956	平日のみ対応

イ 感染が確認された場合

- (ア) 大会中止判断の方針に基づき、主催者で協議の上、大会中止の可否を判断する。
- (イ) 感染者は、本県内の宿泊療養施設への入所など保健所の指示に従うこと。

(4) 競技会場

①受付

- ア 競技会場の受付にて体調不良者を確認した場合は、会場内への入場を許可せず、帰宅または、帰宿させる。
- イ 体調不良者が帰宅、帰宿または、医療機関を受診する際は、自家用車または九州各県やチームが用意する選手団専用車で移動する。
- ウ 受付担当者は、入場を許可しない者があった場合は、速やかに競技会本部へ報告する。

②会場内

- ア 競技会場には、体調不良者を隔離できる隔離室を最低1 箇所以上用意しておく。
なお、隔離室は、常設の救護所とは別に確保する。
- イ 競技会本部では、体調不良者の対応担当者を決めておく。
- ウ 体調不良者に対応する者を極力制限（できるだけ担当者1 名）し、対応時に必ずマスク及びフェイスシールド、手袋を着用する。
- エ 体調不良者は、隔離室に隔離するとともに、選手団帯同スポーツドクター等と協議し、診療・検査医療機関等へ電話相談し、指示を受ける。

- オ 体調不良者が競技会場から帰宅、帰宿または医療機関を受診する際は、原則、自家用車または九州各県やチームが用意する選手団専用車で移動する。
- カ 隔離室は窓を開放するなど可能な限り換気を行い、体調不良者が退室した後は、接触部分（ドアノブ、机、椅子など）を消毒する。

(5) 宿舎

- ①宿舎または、自宅において、体調不良者（競技会場の受付において、帰宅または帰宿を促された者を含む）が確認された場合は、選手団帯同スポーツドクター等と協議し、診療・検査医療機関等へ電話相談し、指示を受けるとともに、別記「参加者区分別報告先」のとおり、診療・検査医療機関等へ電話した旨及び受けた指示について報告する。（様式4 内容報告）
- ②宿舎では、体調不良者は、客室内に待機するとともに、体調不良者と同部屋に宿泊している宿泊者は別室に移動し待機する。
- ③宿泊施設は、体調不良者に対応する従業員を極力制限し、対応時には必ずマスク及びフェイスシールド、手袋を着用する。
- ④体調不良者が宿舎から医療機関へ移動する際は、原則、自家用車または選手団専用車で移動する。

(6) 会期後

- ①会場地を出た日の翌日から 14 日の間に、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は、下記「参加者区分別報告先」のとおり、本人または、所属を通じて、速やかに報告する。
- ②競技会本部が感染者の報告を受ける場合は、速やかに大会本部へ報告する。（様式4 内容報告）
- ③大会本部は感染者の報告を受けた場合は、速やかに日本スポーツ協会へ連絡する。
(様式4 内容報告)

【参加者区分報告先】（様式4 内容報告）

参加者区分
選手団（選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む））
競技会運営者（競技会役員、競技役員、競技補助員等）競技会場内で業務に従事する者
報道員（それに準じるものを含む）
大会役員（九州各県本部役員を含む）、視察員



会期中の報告先	会期後の報告先
競技会本部	大会本部
競技会本部	競技会本部
競技会本部	大会本部
大会本部	大会本部

【報告先電話番号】

報告先	電話番号	
	会期中	会期後
大会本部（福岡県実行委員会）	092-629-3535	
競技会本部（各競技団体）	各実施要項に明記された連絡先	

(7) 感染者発生周知方法

大会期間中または大会終了後から会場地を出た日の翌日から 14 日の間に、参加者に、新型コロナウイルス感染症の感染者が確認された場合、大会公式 Web 上に、感染者が滞在した可能性のある競技名、会場、日時、区分、概要等を記載する他、大会本部から、以下のとおりメールにて連絡を行う。

大会本部
(福岡県実行委員会)



連絡先
選手団 (各県スポーツ協会担当者)
競技会本部を通じて 本人または所属担当者
本人または所属担当者
九州各県スポーツ協会を通じて 本人または所属担当者



参加者区分
選手団（選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む））
競技会運営者（競技会役員、競技役員、競技補助員等）競技会場内で業務に従事する者
報道員
大会役員（九州各県本部役員を含む）、視察員

6 役割分担

(1) 県実行委員会

- ①本ガイドラインを作成し、関係者へガイドラインの周知を行う。

(2) 競技団体

- ①参加者の体調把握を行う。
- ②本ガイドライン等に基づき、各競技会場における具体的な感染防止対策を関係市町及び施設管理者と検討し、実施する。
- ③各中央競技団体等が定めるガイドラインに基づき、適切な感染防止対策を講じた競技運営を実施する。
- ④参加者全員分の体調管理チェックシートを保管し、保健所等関係機関から提出を求められた場合は提出する。保管期間終了後は廃棄する。

(3) 選手団

- ①選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む）の体調把握を行う。

(4) その他（共通事項）

- ①参加者は、厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」を活用するよう努めること。
- ②県実行委員会、競技団体は競技補助員として参加する生徒・学生等の安全・安心の確保及び負担軽減のため、役割分担の見直し等を行い、必要人数の削減に努めること。

7 参加者において遵守すべき事項

(1) 共通で遵守すべき事項

- ①チェックシートにより、会場地入り 14 日間前からの健康状態を確認し、会場地入り後、初日に各競技団体へ提出すること。
- ②期間中は毎日検温を実施し、代表者は、全員分の当日チェックシートの記載を確認したうえで、各競技団体へ提出すること。
- ③入場時には、非接触型体温計・サーモグラフィー等による検温を受けること。
- ④会場内では、原則としてマスクを着用すること。ただし競技中の選手は除く。
- ⑤飛沫感染や接触感染防止のため、以下による応援は控えること。
 - ア 大声で歌を歌う、大声を出しての応援、指笛
 - イ メガホン、トランペットなど道具・楽器の使用
 - ウ タオル、フラッグ等を振り回す
 - エ ハイタッチ、肩組み
- ⑥来県後は、原則として宿舎と大会会場（練習会場を含む）間の移動のみとすること。
- ⑦朝夕の食事は、原則として宿舎で提供される食事か、テイクアウト等により宿舎の自室でとることとし、外食は控えること。また、昼食においても外食を控え、業者が提供する弁当等をとる場合においては、車座にならないなど、向かい合って食事をするのがないよう留意すること。
- ⑧宿舎と大会会場（練習会場を含む）間の移動は、公共の交通機関ではなく、極力各自準備した専用車両を活用すること。
- ⑨会場地を出た日の翌日から 14 日間、自主的に起床時体温、体調及び行動を毎日記録する。
- ⑩会場地を出た日の翌日から 14 日間に新型コロナウイルス感染症へ感染した場合は、速やかに報告する。

(2) 選手団（選手・監督・コーチ（チームスタッフを含む））

- ①（1）①のチェックシートは、様式 1 または、競技団体指定様式を使用すること。
- ②（1）②のチェックシートは、様式 2 【個人用】あるいは、様式 3 【チーム用】、または、競技団体指定様式を使用すること。

(3) 競技会運営者（競技会役員、競技役員、競技補助員等）、会場設営・売店事業者等

- ①（1）①のチェックシートは、様式 1 または、競技団体指定のものを使用すること。
- ②（1）②のチェックシートは、様式 2 または、競技団体指定のものを使用すること。

(4) 報道員

- ①（1）①のチェックシートは、様式 1 または、競技団体指定のものを使用すること。

- ②(1)②のチェックシートは、様式2または、競技団体指定のものを使用すること。
- ③取材は事前申請とし、取材日ごとに受付を行うとともに、報道員IDと報道員ビブス及び自社腕章を着用すること。
- ④取材人数は、出来る限り少なくすること。
- ⑤囲み取材・インタビューは、競技者同意のもと、身体的距離（競技者と取材者および取材者同士の距離）を確保し実施すること。
- ⑥競技団体の新型コロナウイルス感染防止対策に従うと共に、各自で必要な対策を講じること。
- (5) 大会役員（九州各県本部役員を含む）、視察員
 - ①(1)①のチェックシートは、様式1を使用すること。
 - ②(1)②のチェックシートは、様式2を使用すること。

8 参加者の会場受付

- (1) 会場受付において、チェックシートを掲示し、体調確認を受けるとともに、検温を受ける。
(検温は、再入場時にも受ける。)
- (2) 受付担当者は、受付対象者のIDカードの確認状況に応じて、以下のとおり対応する。
 - ①会場地入り後、確認が初めての場合
チェックシートにより、会場地入り前までの体温等の記録及び当日の体調について問題がないことに加え、検温で37.5℃未満であることを確認した場合は、IDカードに確認のチェック（シール貼付等）を行う。
 - ②会場地入り後、すでに1回以上の確認がある場合
チェックシートにより、当日の体調について問題がない及び検温で37.5℃未満であることを確認した場合は、IDカードに確認のチェック（シール貼付等）を行う。（会場地入り前までの体温等の記録確認は不要）
- (3) IDカードにチェックを受けた当日は、他会場でチェックシートの再度チェックを受ける必要はない。（他会場においても検温を受ける）
- (4) 受付時の検温で37.5℃以上または、チェックシートで体調不良者または症状が確認された者については、入場できないものとする。（入場を許可しない）
また、競技会本部に報告の上、帰宅（または帰宿）を促し、医療機関等への電話相談するように伝える。
- (5) チェックシートに記入の不備がある場合は、不足項目の確認（検温）を行う。

受付及び体温チェックの流れ

会場地入り 14 日前～	福岡大会会場	
	初回受付	2回目以降受付
<div> チェックシートに 2週間の体調記録を記入 </div>	<div> ・チェックシートの掲示 【会場地入り前から当日分】 ・検温 </div>	<div> ・チェックシートの掲示 【当日分】 ・検温 </div>

9 競技会場内において実施すべき事項（競技団体において実施）

- (1) 競技エリア
競技固有の特性により必要となる対策は、各中央競技団体等が定めるガイドラインに従い実施すること。
- (2) 受付等
 - ①受付には、手指消毒用アルコールを設置すること。
 - ②人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する、またはフェイスシールド等を準備し、対応すること。

- ③参加者が身体的距離（できるだけ2m）において、並べるように目印の設置等を行うこと。
- ④非接触型体温計・サーモグラフィー等による検温を行うこと。
- (3) 手洗い場所・トイレ
 - ①手洗い場所には石けん（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
 - ②手洗いに後手を拭くためのマイタオルの持参を求めること（手指を乾燥させる設備（ハンドドライヤー等）は使用しないこと）
 - ③トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
 - ④トイレの出入口は、手指消毒用アルコールを用意すること。
 - ⑤洋式トイレは、蓋をして汚物を流すことを求めること。
- (4) 控室・更衣室等の諸室
 - ①広さにはゆとりを持たせ、密になることを避けること。
 - ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
 - ③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
 - ④換気扇を回す、窓を開ける等、換気に配慮すること。
 - ⑤マスクの着用、会話を控えることを求めること。
- (5) 観客席
 - ①観覧にあたっては、身体的距離（できるだけ2m）を十分に確保することを求めること。
 - ②収容人数については、国や開催地の県の方針に従うこと。
- (6) 取材エリア
 - ①取材エリア等（ミックスゾーン／撮影エリア／プレスルームなど）は、原則設置しないこととし、設置する場合は、以下のとおりとする。
 - ア 会場の規模により人数を設定し制限すること。
 - イ ミックスゾーンを設置する場合は柵などで身体的距離を確保し、3密を防ぐこと。
 - ウ 撮影エリアは身体的距離で区切ること。または設定できる撮影エリア内での身体的距離をカメラマン同士で調整するよう呼びかけること。
 - エ マイク、スピーカーの利用や、オンラインの活用など競技者とメディアの位置を分ける方法も検討すること。
- (7) 売店、休憩所、喫煙場所等
 - ①売店、休憩所、喫煙場所等は、原則設置しないこととし、設置する場合は以下のとおりとする。
 - ア 出店場所には、透明ビニールカーテンやアクリル板等を設置すること。
 - イ 出店者は、マスク・手袋等を着用し、金銭のやり取りはトレーを介して行うこと。
 - ウ 参加者が身体的距離（できるだけ2m）において並べるように目印の設置等を行うこと。
 - エ 休憩所を設置する場合は、密を避けることができるよう座席数に留意すること。設置する備品（テーブル・いす等）は定期的に消毒すること。
 - オ 休憩所で飲食等を行う場合は、身体的距離（できるだけ2m）において飲食できるようにするとともに、テーブル等を複数名で利用の場合は（1テーブル1名が望ましい）、アクリル板等を設置すること。
 - カ 喫煙場所を設置する場合は、換気に配慮した場所を指定し、場所の広さにより人数を設定し制限すること。
 - キ これらア～キの感染防止対策を講じることができない場合は、設置を中止すること。

10 宿泊、輸送

- (1) 宿泊（県実行委員会において実施）
 - ①配宿予定宿泊施設に対し、宿泊施設説明会等の機会を通じ、最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、日本旅館協会、全日本シティホテル連盟作成）」及び「温泉施設における新型コロナウイルス感対応ガイドライン（一般社団法人日本温泉協会作成）」の遵守を依頼する。

②宿泊者に対し、以下「宿泊にあたっての留意事項」について宿泊申込のWebシステム等により協力依頼を行う。

「宿泊にあたっての留意事項」

ア 基本的な留意事項

(ア) 宿泊者同士の接触をできるだけ避け、身体的距離（できるだけ2m）を確保する

(イ) マスクを着用する

(ウ) 定期的に手洗い・手指消毒を行う

イ 各エリアや場面における留意事項

(ア) 入館時には、手指消毒を行う

(イ) チェックイン時は、できる限り代表者がまとめてチェックインを行い、宿泊者は一つの場所に固まらず、分散して待機する

(ウ) エレベーターを利用するときは、過密状態にならないようにして乗車する

(エ) 宿泊する部屋では、一定時間ごとに部屋の窓を開けて換気する

(オ) 大浴場等における入浴中は、対人距離を確保するとともに、浴室、浴槽内における会話は控える

(カ) 大浴場の休憩室では、対面で会話をしないようにする

(キ) 化粧品・ブラシ等は持参する

(ク) 食事会場では、入場時の手洗い又は手指消毒を行うとともに、食事開始までマスクを着用する

(ケ) 自席での食事中以外（テーブル間の通行や移動等）においてマスクを着用する

(コ) トイレの蓋を閉めて汚物を流すようにする

(2) 輸送

＜公共交通機関（自家用車等を含む）等における感染予防＞

①参加者が公共交通機関（自家用車等を含む）等を利用して移動する際は、マスクの着用及び会話の控え、石けんによる手洗い、手指消毒用アルコールによる消毒などの基本的な感染予防を徹底すること。

②休憩時においても、基本的な感染予防（マスクの着用や手洗いなど）を徹底すること。

＜移動に利用する車両（バス、タクシー等）における感染予防＞

①参加者が貸切バスを利用して移動する際は、バス事業者に対し、最新の「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」（日本バス協会）及び「貸切バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」（貸切バス旅行連絡会）に沿った感染予防対策の確実な実践の遵守を確認すること。

②その他の車両を利用して移動する際は、その車両の事業者に対して、物流・運送に係る業種別ガイドラインに沿った感染予防対策の確実な実践の遵守を確認すること。

③休憩時においても、基本的な感染予防（マスクの着用や手洗いなど）を徹底すること。

11 監督会議、開始式、表彰式（競技団体において実施）

(1) 監督会議

①監督会議は、感染拡大防止の観点から、各競技団体で協議し、事前に必要な連絡事項をメール、書面等で周知する等の工夫を検討し、原則、実施しないこととする。
やむを得ず実施する場合は、オンラインによる会議の検討や参加人数の制限による間隔の確保など感染防止対策を講じること。

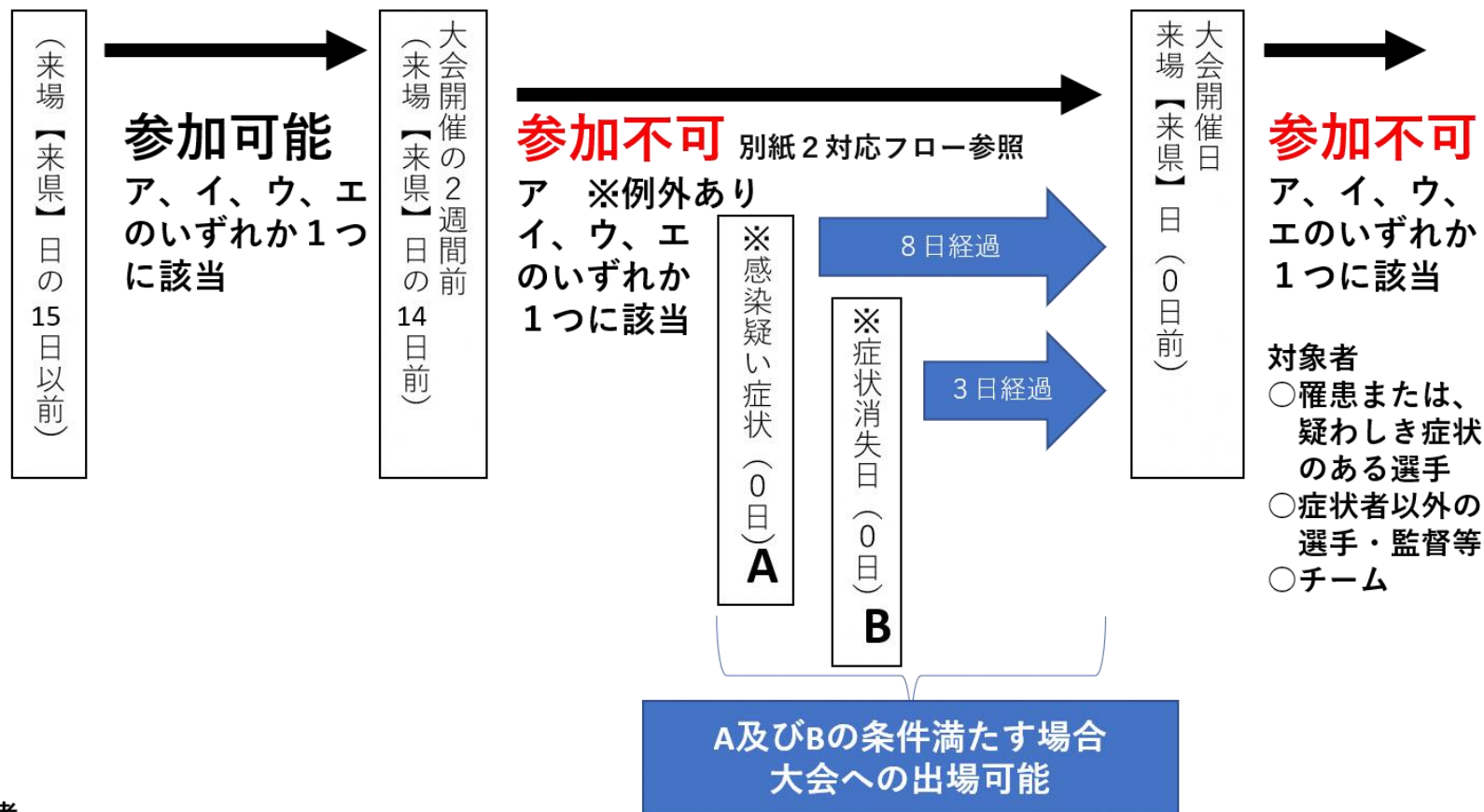
(2) 開始式、表彰式

①各競技の開始式や表彰式は、感染拡大防止の観点から、原則、実施しないこととする。
やむを得ず実施する場合は、参加人数の制限による間隔の確保やプログラムの見直しによる時間短縮など感染防止対策を講じること。

12 その他

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの感染拡大等の状況に応じて、随時改訂を行う。

別紙1 大会の参加可否判断について



ア 感染疑い者

イ 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触※がある場合

ウ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

エ 会場地入り前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触※がある場合

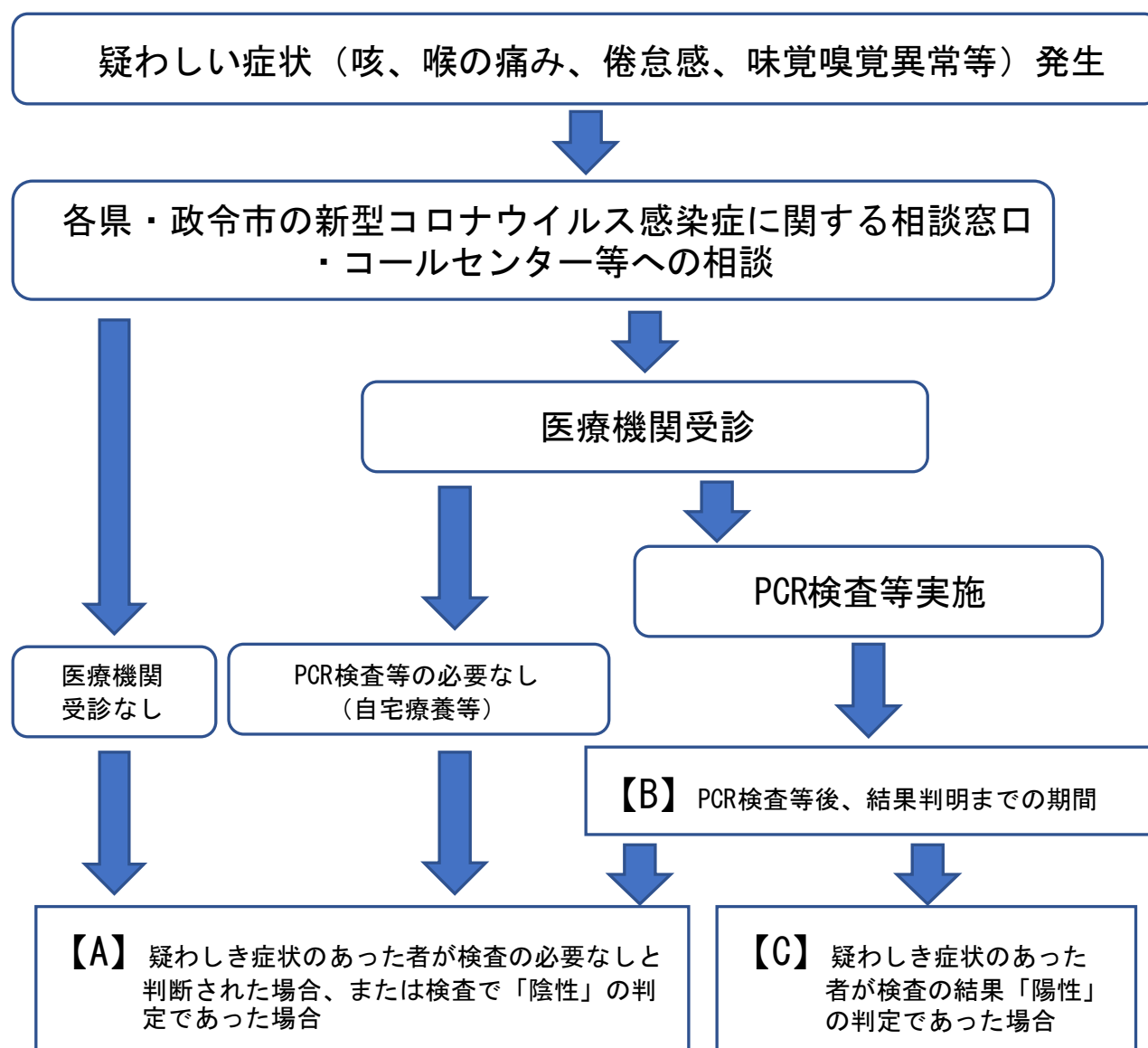
※濃厚接触とは、「該当者と1m程度以内で、必要な感染予防策なしで、15分以上接触があった場合」と定義します。

(例外)

A 感染疑い症状の発症後に少なくとも8日が経過している。

B 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも3日が経過している。

別紙2 大会2週間前から来場（来県）までの対応フロー



参加対象者	ケース別の参加可否		
	【A】	【B】	【C】
（ア）疑わしき症状者	×		
（イ）症状者以外の選手・監督等	○	×	×
（ウ）チーム	○	×	×
備考（例外等）	AとBの両方の条件を満たす場合、（ア）は「○」		<ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者以外の場合、（イ）は「○」 ・チームが濃厚接触者以外で構成される場合は、（ウ）は「○」 ※濃厚接触者かどうか不明な場合（イ）（ウ）とも「×

【参考資料・情報サイト】

- 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【令和3年2月15日更新版】」
- 公益財団法人日本スポーツ協会「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針【第2版／2021年5月24日】」
- 「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<中央競技団体作成ガイドライン>」
<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会「三重とこわか国体競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン【第1版】令和2年11月19日」
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid1067.html>（国体委員会・国民体育大会・JSPO）
- 秋田県「第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン第1版 令和2年12月10日」
<https://common3.pref.akita.lg.jp/skikokutai/>
- 愛知県実行委員会「夢！きらリンク愛知国体新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン第3版（2021年1月8日）」
<https://www.yume-kirarink2021.jp/>
- 岐阜県実行委員会「ぎふクリスタル国体2021 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン第3版（令和3年1月8日改定）」
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/20539.html>
- 第75回国民体育大会関東ブロック大会神奈川県実行委員会「第75回国民体育大会関東ブロック大会アイスホッケー競技会新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン第1版 令和2年12月」
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/tz5/the75th_kanburo_icehockey.html
- 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症について」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 福岡県「新型コロナウイルス感染症ポータルページ」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>
- 鹿児島県「新型コロナウイルス感染症」
<https://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/covid19/index.html>